

冬至出荷・年明け出荷最適 フリメラホワイト



【特 徴】

1. 白皮系の品種ではやや中玉の1.5-1.8kgの中玉種。果色は灰白色で果肉は白皮系の品種の中では、非常に濃い。
2. 果実系は、やや腰高で花落ちも小さく、交配後45~50日で収穫できる中生種です。肉質は強粉質で大変おいしくメルティング質。
3. 葉はやや中葉で葉柄は短く、葉折れ倒伏少なく風に強い。
4. 雌花は株元から着生し、放任栽培でも着果は大変良く雌花も多く着果性数が多い。
5. 作型は広く、ハウス・トンネル・露地栽培にも適する。

【栽培のポイント】

1. 肥料は窒素成分で10a当り10~12kgとする。
2. 雌花の着生は安定しており株元50cmから着果させるのが望ましい。

【適作型】

	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
寒冷地					●	×	—	—	—	—		
一般地			●	×	●	×	—	—	—	—		
暖地	●	×	●	×	—	—	—	—	●	×	—	—

プリメラホワイトの特徴

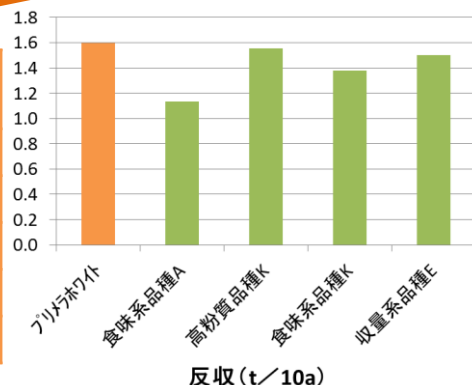
- ①高粉質で、長期貯蔵に向く
- ②大きすぎない中玉サイズで、扱いやすい
- ③白皮品種としては樹勢が強すぎず、作りやすい

①高粉質で多収！

2016年埼玉ハウス抑制栽培試験結果
(9月5日播種、12月収穫)

	反収 (t/10a)	1果重 (g)	一株収穫 個数	乾物率 (%)
プリメラホワイト	1.6	1710	1.0	36.2
食味系品種A	1.1	1337	1.0	28.2
高粉質品種K	1.6	1566	1.2	21.5
食味系品種K	1.4	1950	0.8	21.4
収量系品種E	1.5	1511	1.2	20.0

肉質の粉質度を表す数値
高いほど粉質度が高い



②中玉サイズで 扱いやすい

促成作型では、中玉サイズの果実が多く着果
5~6玉中心で扱いやすい



栽培特性と方法

- 施肥量は10-12kgN/10aと従来施肥量で多収となるが、元肥 7-8kgN/10aとして追肥型にすると作りやすい
- 一本整枝が管理しやすい
栽植密度700~800本/10aを目安とする
- 樹勢は旺盛でやや大葉だが、葉折れ倒伏は少なく風に強い
- 雌花が多く、着果数が多い。
株元50cmから着果させるのが望ましい。
- 食べ頃になると果皮色がより白さを増すので、食べ時がわかりやすい。
(右写真の右側が食べ頃)
- 平均果重は1.8kgで、果形はやや腰高で肉厚。5~6玉中心にそろろう。



左：収穫直後 右：食べ頃